

◆フォーラム主催セミナー開催のお知らせ◆

「息に含まれる成分を素早く測定できる呼気センサーの研究動向」

講師：壺井 修 氏

(株式会社富士通研究所 IoTシステム研究所 IoTフロント技術プロジェクト主管研究員)

2018年11月20日
フォーラム推進部
ウェアラブル調査研究WG

日 時：2018年12月3日(月) 15:00~16:30

場 所：一般社団法人 情報通信ネットワーク産業協会 B~E会議室
(港区浜松町2-2-12 JEI浜松町ビル3階/TEL:03-5403-9361)

演 題：「息に含まれる成分を素早く測定できる呼気センサーの研究動向」

講 師：壺井 修 氏 (富士通研究所 IoTシステム研究所 IoTフロント技術プロジェクト主管研究員)

種 別：会員限定/参加費：無料

主 催：ウェアラブル調査研究WG

■講演概要：

人など生物が体外に放散するガスに注目・利用して、体の状態の指標として非侵襲に調べる、生体ガスセンシングの研究に関心が集まっている。例えば、アンモニアは、肝臓の代謝や、H.ピロリ菌感染と強い関連があるとされる。また、疲労やストレスが蓄積した時の体臭の代名詞となっている。

呼気には、血液中の化学物質が肺で気化し放出された、生体活動に関わりのある、ごく低濃度の生体ガスが含まれている。呼気分析はこれらのガスの濃度を計測することで、からだの拘束や採血などと比べて苦痛の少ない手軽な手段で、体の状態の指標の検出をめざしたものである。これまで簡単には測れなかった、呼気中のアンモニアに着目して、アンモニアだけを測ることができるセンサーデバイスとこれを用いた呼気センサーを開発した。セミナーでは既に実用化・活用されている呼気センサーとともに技術解説を行う。

■講師略歴：

株式会社富士通研究所IoTシステム研究所IoTフロント技術プロジェクト主管研究員。1992年豊田工業大学工学部卒。同年より、富士通株式会社において、SOI/PLL prescaler IC、128Mbit FCRAM や16kbit FRAMなどのULSIデバイスのプロセスインテグレーション開発に従事。

2001年より株式会社富士通研究所において、80×80ch光スイッチ用MEMSミラーアレイや40波長ROADAM用MEMSミラーアレイなどの光通信用MEMSデバイス、スマートコンセントなどのエネルギーマネージメントデバイス、下水道水位モニタリングシステムなどのエネルギーハーベスティングと環境センシング技術の研究・開発を経て現在、呼気センサーを用いたバイタルセンシング技術の研究に従事。

※本セミナーに参加ご希望の方は、11月30日(金)までに、

<https://area11.smp.ne.jp/area/table/846/fGSkhc/M?S=pekc2rere> よりお申込下さい。

※ご提供頂きました情報は、当協会が今後主催する同様の交流会、委員会又はセミナー等のご案内、書籍・報告書等の発刊のご案内等に利用させていただきます場合がございますので予めご了承下さい。

尚、以上について不都合がございます場合は、事前にご連絡賜りますようお願い申し上げます。

※会場の都合上、定員になり次第締め切らせていただきますので、予めご了承下さい。

以 上